

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	BX240／財務会計論2 (Financial Accounting 2)		
担当者名 (Instructor)	米谷 健司(KOMETANI KENJI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	ECX2910	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

#### 授業の目標 (Course Objectives)

企業会計はビジネスに必須のコミュニケーション・ツールであり、しばしばビジネスの言語と表現される。企業会計をビジネスの言語として使いこなすためには、財務諸表がどのようなルールに基づいて作成されているのかを理解するとともに、それがどのような情報を提供しているのかを適切に理解する必要がある。この授業では、「財務会計 1」で取り扱わなかった財務会計の基礎的な知識・技術を習得し、財務諸表によって提供される会計数値の情報内容を適切に理解することを目標とする。

Business accounting is an indispensable communication tool of business and is often expressed as business terminology. To use business accounting as a business language it is necessary to understand the rules that guide the creation of the financial statements and to appropriately understand the information they provide. The objective of this class is for students to learn the basic knowledge and technology of financial accounting covered in Financial Accounting 1 and to appropriately understand the contents of the accounting numerical information provided by the financial statements.

#### 授業の内容 (Course Contents)

この授業では、「財務会計 1」で習得した財務会計の基礎知識を前提として、より発展的な内容を含む会計処理を取り扱う。具体的には、金融商品会計、リース会計、退職給付会計、税効果会計、企業結合会計、連結会計などを取りあげ、それらの基本的な会計処理を解説する。また、財務指標にもとづく分析手法についても解説し、財務諸表を適切に分析する眼を養う。なお、会計学 1・2 で学習した内容も多く含まれるため、重要論点の復習という要素もある。

This class will cover accounting processes, including constructive contents, based on the fundamental financial accounting knowledge that was learned in Financial Accounting 1. Specifically, accounting for financial products, leases, retirement benefits, tax effect, business combinations, consolidation, and foreign currency conversion will be covered and the corresponding basic accounting processing explained. The analysis techniques using financial indicators will also be explained to give students an eye for appropriately analyzing financial statements.

#### 授業計画 (Course Schedule)

1. 金融商品会計(1)
2. 金融商品会計(2)
3. リース会計(1)
4. リース会計(2)
5. 退職給付会計(1)
6. 退職給付会計(2)
7. ストック・オプションの会計
8. 資産除去債務
9. 企業結合会計(1)
10. 企業結合会計(2)
11. 税効果会計
12. 連結会計(1)
13. 連結会計(2)
14. 財務諸表分析

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

各回の授業内容に応じたテキストの該当箇所を予習すること。また、授業で説明した内容を正確に理解できるまで復習し、課題等があればそれに取り組むこと。

#### 成績評価方法・基準 (Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(50%) / 授業内に行う確認テスト(2回)(30%) / 授業内に指示した課題提出(1回)(10%) / リアクションペーパー(確認テスト実施日以外の毎回の授業)(10%)

#### テキスト (Textbooks)

1. 伊藤邦雄、2022、『新・現代会計入門 第5版』、日本経済新聞出版社 (ISBN:978-4-532-13525-6)

注)最新版が出版された場合はそれを使用すること。

#### 参考文献(Readings)

1. 桜井久勝、2022、『財務会計講義(第23版)』、中央経済社 (ISBN:978-4-502-42901-9)

注)最新版が出版された場合はそれを使用すること。

#### その他(HP等)(Others(e.g.HP))

注1)授業の資料等は、Google Classroomを通じて配信する予定である。ただし、連絡事項や成績管理や課題提出については、立教大学のブラックボードを利用する予定である。

注2)各回の授業内容については、授業の進捗等によって変更の可能性がある。また、各回の授業内容に関する資料を配布する場合がある。

#### 注意事項(Notice)